

G1ジャパンカップ

▼AI 推奨馬

<評価 A>

- 1 リバティアイランド
- 2 イクイノックス
- 3 タイトルホルダー

<最終見解>

主流能力が問われるチャンピオン舞台。
過去 5 年は 1-3 着馬がすべて 5 人気以内。

5 人気以内の馬のなかから、どうにか馬券妙味を見出すのであれば「前走 5 着以下」の前走凡走馬。

過去 5 年の JC にて 5 人気以内に支持された前走 5 着以下の馬はのべ 7 頭。
このうち馬券になった馬はのべ 5 頭。すべて同舞台のダービーで 3 着以内の実績があった馬。

昨年も該当パターンのシャフリヤールが 2 着。ヴェルトライゼンデが 3 着。
2019 年もスワーヴリチャードが 3 人気で 1 着。ワグネリアンが 3 着。2018 年もスワーヴリチャードが 3 着。

今年のジャパンカップは

- 1 人気はイクイノックス。
- 2 人気はリバティア일랜드。
- 3-5 人気はドウデュース、タイトルホルダー、スターズオンアース。

このなかで前走 5 着以下に敗れ、ダービーで

- 3 着以内の実績があるのはダービー馬のドウデュースのみ。

父はハーツクライ。母父は米国型のヴィンディケーション。

近年のジャパンカップは、天皇賞秋よりも
米国血統が走りやすくなっているのも注目の傾向。

かつて天皇賞秋はマイル実績馬が走りやすく、
JC は長距離実績馬が走りやすかった時代もあったが、今は逆。
ここ数年は天皇賞秋の方が、スタミナ馬が走りやすくなっています。

JC が天皇賞秋よりも米国血統が走りやすくなっているのも、
ジャパンカップの方が、直線スピードが要求されるため。

今年の実績もマイル重賞未勝利馬の 1-3 着。
2 着のジャスティンパレスも天皇賞春の勝ち馬。

スタミナ比べをドウデュースは先行。
苦手な体力比べのリズムで追走したことで、
自身の直線スピードも発揮できず。

前走の戸崎騎手は、急遽の乗り替わり。

トップジョッキーですから、
さすがに失敗は2回しないでしょう。

今回はドウデュースのリズムで追走することができれば、
天皇賞秋よりも直線スピードを発揮しやすい当舞台で持ち前の能力を引き出すことでしょう。

相手は2、1。

G3京阪杯

<最終見解>

土曜の京都芝は欧州指向。

本命はキミワクイーン。

土曜同コースの最終レースも人気薄で 1、3 着したサンデーとサクラバクシンオーを持つ馬。

父は芝 1200m で首位種牡馬のロードカナロア。スプリンターとしての血統スケールもここでは上位。

相手は 6 エイシンスポッター、7 ショウナンハクラク。

土曜の京都 11、12 レースはデインヒル持ちが 1、2 着。エイシンスポッターは母母父がデインヒル。ショウナンハクラクは父母父がデインヒル。